

# 社会保険労務士からの三方一両得だより

令和2年1月20日 第124号

## 真冬の奥日光に行ってきました

実は私、冬が一番好きなのです。別に太っているので夏は汗が大変だからとか、そんな理由ではないですよ。何よりも「寒いね」と言って、怒っている人はいないですよ。これが「暑いね」とイライラしている人が沢山いたりします。そして寒いねを共有している中で、暖房でも缶コーヒーでも少し温かいものに触れたときに、誰もが少しほっとした表情をしたり、にっこりしたりする。そんな少しだけ優しい雰囲気のある冬が好きです。



指が写り込んだのはご愛敬。

そんな冬を感じるために、奥日光に行ってきました。どうやら日光も雪があまり降っていないようで、湯ノ湖まで道路上に雪は一切ありませんでした。湯ノ湖は完全結氷こそしていないと思いますが、外周部は凍っています。戦場ヶ原には雪がそこそこ積もっていましたが、竜頭の滝あたりになると、ほとんど雪はありませんでした。

今回意外だったのは、日光駅から田母沢御用邸周辺までは、沢山の観光客が散策していたことです。真冬なのに。さすが日光なのです。

「優しい時間」というドラマの主題歌だった、平原綾香さんが歌う「明日」という曲を聞きながら冬の景色を眺めると、その魅力が倍増します。冬がちょっと苦手だという方は、ぜひやってみてください。



流量が極端に少なくいつもと違う雰囲気です。



長ネギ収穫しました。

### 我が家の畑

今年の冬はかつてなく雨が多いような気がします。例年なら乾燥している畑も、いつもしっとりしています。朝の寒さも、例年の厳しさはありません。農家の方は色々影響があり、大変なのかもしれません。そんな心配をしなくて良いのが、お気楽な我が家の畑です。何しろ植わっているのは、大根と長ネギだけ。でも気を抜くとあっという間に春になってしまいますから、そろそろ畑を耕し始めるとしましょう。

## 企業と労働者の意識に大きなズレ～

### 「同一労働同一賃金」アンケート結果

労働政策研究・研修機構が、「同一労働同一賃金ガイドライン」を含めた「パートタイム・有期雇用労働法」等の施行を控え、企業とそこで働くパートや有期雇用の労働者を対象としたアンケート調査の速報を公表しました。

まず、企業を対象としたアンケートでは、「有期雇用でフルタイム」「有期雇用でパートタイム」「無期雇用でパートタイム」の労働者を雇用する企業それぞれに正社員との職務（業務の内容や責任の程度）の相違を尋ねると、「業務の内容も、責任の程度も同じ者がいる」企業の割合は、「有期雇用でフルタイム」の労働者がもっとも高い 29.1%で、次いで「無期雇用でパートタイム」の労働者が 12.8%、「有期雇用でパートタイム」の労働者が 8.8%の順でした。

また、正社員と「業務の内容も、責任の程度も同じ者がいる」場合に、その賃金水準がどうなっているかという質問では、「正社員の8割以上」と回答した企業の割合が、「有期雇用でフルタイム」66.9%、「無期雇用でパートタイム」64.0%、「有期雇用でパートタイム」60.9%と、いずれも6割を超えていました。

一方、「業務の内容も責任の程度も同じ正社員がいる」と回答した労働者を対象に、正社員と

比べた自身の賃金水準をどう思うかという質問では、「同等もしくはそれ以上の賃金水準である」割合が 10.8%、「正社員より賃金水準は低いが、納得している」が 21.6%で、「正社員より賃金水準が低く、納得していない」が 33.5%、「何とも言えない・分からない」が 32.8%という結果でした。

また、そうした正社員と比較して納得できない制度や待遇があるかという質問では（複数回答）、「賞与」を挙げた割合がもっとも高い 37.0%で、これに、「定期的な昇給」が 26.6%、「退職金」が 23.3%と続きました。



これまで働いてきた中で、正社員と「パートタイム」や「有期雇用」の労働者の間で、業務の内容および責任の程度、人材活用の仕組み、その他の事情に照らしても、不合理な待遇差を感じたことがあるか尋ねると、「ある」とする割合が 21.3%で「ない」は 35.2%、「分からない・考えたことが無い」が 39.4%となりました。

来春以降、この 39.4%の方たちも正社員との待遇差を意識するようになると思います。企業としては不合理な格差をなくすのはもちろんですが、「合理的な理由がある」場合でも、労働者に対して一層の説明努力が求められそうです。